

磐城時報

編輯者 石城郡平町新屋町十四
印刷者 石城郡平町新屋町十四
電話 磐城時報社
電話 磐城時報社
電話 磐城時報社

六日頃常銀重役來平し 正式に合併交渉開始

平銀行重役には反對者もある 成行を注目する

平銀行と常磐銀行との合併比率を調整し、資産調査内容を報告し合
から平銀行重役間には合併を非併に對する具体案を製作討論の
とする者もあり去る二日高岡唯上来る五、六日頃常銀重役が來
一郎氏宅に集合協議を重ねたが、平、常銀重役と意見合併比率
其結果に就て探問するところ、その他一切の條件を提示して正
依れば目下縣下財界殊に石城財界合併交渉を開始する豫定であ
界は非常な危険に瀕して居り、と云ふが、兩行重役が果して
これを救済することは目下の急如何なる態度に出づるか非常に
務であるからこの際多少の犠牲を注ぎ居るが、兩行の重役
を拂つても合併して開業すべきにして誠意を以て合併交渉を進
であること云ふ意見がかなり有力であるものとすれば兩行の合併は
となりつゝある模様である、な大なる困難なく成立する物と見
は常磐銀行三宅支配人は去る二日、免に角兩行の折衝
日午前九時平驛發列車で歸行直には今後相當の迂余曲折がある
に重役會を開き平銀側重役の意見の観測される。

平町の少壯資産家 單獨開業を希望

秘密裡に會合し 極力後援支持を申し合はす

水戸常磐銀行と平銀行との合併味から言つても單獨開業をなす
問題の正式交渉はいよいよ來るべきであるとの理由から二日
五、六日頃行はれるらしいが、平町某旅館に秘密裡に會合單獨
平町に於ける数名の少壯資産家開業問題について種々協議した
は基礎確實な平銀行が單獨開業と傳へられて居るがその内容は
が不可能で他行と合併開業をなす平銀行が單獨開業の方針を進む
ことであり、石城財界救済の意が更生に對し極力後援支持

町村長に 白井專務聲明

石城郡各町村から磐銀に預金して 三時散會した

町村長に白井專務聲明
石城郡各町村から磐銀に預金して三時散會した

搜索本部移轉 取調べを續行

内郷爆裂團の檢舉

昨報一内郷村を根城として湯本は主として金品の強奪を目的と
平に會員を有し、恐る可き規約する喧嘩口論を活動の目標とし
を設けて活動に着手せんとして、軟派は活動常設館等において婦
るた秘密結社爆裂團の檢舉は女子を誘惑しこれに依つてうま
の後益々その數を増し關係者が更に團員に加入の動機は
以外に多い事が判明したので三、更に團員に加入の動機は
日夕刻から搜索本部を内郷村綴一、小道に不自由するたため暴
騷前調査部長派出所に移し平檢
事局から三警檢事、平警署署長
ら伊藤、鯨岡兩警部補、横地高
等刑事部長以下出張し檢舉者の
取調べ及び連累者の檢舉を行つ
てゐる。

爆裂團に 加入の動機

爆裂團の内容その他に關し取調
に關するに於ては、團員は大体
から得た模倣感化であらうとの
事である。

であつた公金につきこれが對策
を二日午後、時から元郡役所内
に開いた、特に磐銀からは專務
取締役白井一郎氏の來會を求め
た、種々協議の結果白井專務は
今俄に開業といふことは望ま
れない、どうしても今三ヶ月
かれば必ず單獨開業をなし
得る自信を持つてゐる、向は
當局としては大藏省に出頭し
て諒解を得單獨開業をなすべ
く大体決定してゐるから今少
しの間御猶豫を願ひたい、
と聲明したので各出席者もこれ
を諒した、しかしして向は町村
側も「出來得るだけ早く開業し
年度末まで支拂の出來得るやう
努力を願ひたい」と希望を述べ
て同三時散會した。

片倉製糸の師匠となる 女學校出の女工さん

創立總會は二十五日頃 操業開始は明春五月頃

片倉製糸株式會社は第一回はこの程女工三十名を募集し昨
株金拂ひ込みも済みいよいよ來三日午前十時平驛發列車で直
る二十五日創立總會を開催し決に埼玉縣大宮町の片倉製糸工場
定したが同社は濱通り二銀行の間に送つたが、同女工等は約六
休業その他の大口拂ひ出し制月間大宮工場で見習ひの上歸平
限等に禍されて拂ひ込みは不成し四百余名の新製糸女工に
續に終るであらうと一般の想像技術を練習する由であるが、今
を裏切つて拂ひ込みも順調にす度募集した女工等は大半磐城高
すみ九百九十九名は藤田、平陽兩女學校出身
余株は全部拂ひ込みを了し右失業者である。

ボート轉覆

三名を乗せた 一名生死不明

三日午前八時石城郡大浦村上仁
井田建築請負業吉田清太郎(四
六)は狩獵から歸つて貨車を充
つた、の銃を座敷に立てか
けて置いた處子供等が駆廻つて
遊んでゐるうち銃が倒れて轟然
たる音響と共に發射し孫たか子
(二)の顔面に命中後頭部に貫
通して即死した。

縣會座から

報知福島支局 榎本紀一

突然社命により十月二十
四日福島支局へ出張致しまし
て早や一ヶ月余を経過致しま
した。前貴族院議員吉野周太
郎氏の手形偽造行使、詐欺横
領事件の公判及び十一月十日
京都において行はせられた曠
古の御盛典による本縣關係並
に聖土御登極を期して皇
恩全土にあまねき孝子、節婦
義僕、實業、教育、自治、各
種功勞者に対する表彰、これ
に要する調査、引續く通常縣
會の召集と全くその眼まぐる

合に出たところ激浪のためにボ
ートが顛覆し大平、鈴木兩名は
辛うじて海岸まで泳ぎついたが
藤原は行方不明となつた騒ぎに
同村青年團、消防組が總出動を
なし屍體搜索中であるが未だ發
見されない。

火葬場落成

平町が工 費六千余圓を投じて新築中の火 葬場は室内の諸設備全くなり檢 査済み次第事業を開始すること となつたので近く落成式を舉行 する。

獵銃倒れ

孫が死亡

三日午前八時石城郡大浦村上仁
井田建築請負業吉田清太郎(四
六)は狩獵から歸つて貨車を充
つた、の銃を座敷に立てか
けて置いた處子供等が駆廻つて
遊んでゐるうち銃が倒れて轟然
たる音響と共に發射し孫たか子
(二)の顔面に命中後頭部に貫
通して即死した。

七號議案に至る全議案に對す
る質問、今期縣會質問の先陣
として鈴木周次郎議員(民政)
先づ豫算總論として豫算説
明は詳細懇切を極むれど内容
極めて貧弱恰かも一役場の書
記の如く前年度豫算に比し二
十四萬圓の増額をなせど新
規事業として自新らしきもの
なく且つ知事本縣着任早々縣
下銀行有力者を集め銀行合同
問題に對する積極的救済方法
を聲明しながら、最近平町中
銀行の休業を加へ縣下金融界
日を追ふて不安の現狀、これ
が對策如何と、その他土木、
勸業、教育、思想の各問題盛
り澤山の處をもつて肉迫する

妻が家出 石城郡入道
野村上根本線川留松内縁の妻平
子よし(三〇)は去月無断家出し
たので留松は三日平署に捜索方
を願ひ出づ。

亡渡邊則成師を
憶ふに ついて(消息)
あきら 生
淡い、そして温かい陽がさし
て、風のない初冬としては珍
らしい今朝でした。掃き清め
られた、庭を眺めながら茶を
喫してのますと、郵便といふ

懐 郷
萩原 たけ
みすゞかる信濃路はやく冬の
来て火桶戀しき頃となるらん
火ふき山淺間てふ名もなつか
しや渦巻く煙空にたゆとう
手綱を馬子のさびし口す
さむ追分節の聲のほがらさ
追分の赤きは影を戀ひくく
旅順禮の北せし道よ
さみざりの衣かへせし落葉松
の梢かそけく百鳥啼き渡る
若き日の桃色の夢ゆいねがて
の枕邊近く山鳥啼くも
古里は雪にしらむと聞くな
に老ひにし母の身はや如何に
と

聲がして、雅兄の玉章が置い
てありました。なつかしきも
のに接する心地で披らいてみ
ると、私の大好きな、和歌が
七首ありました。嬉しく拜誦
しました。
幼な兒の手をひきながら寺
まへりたらちねのため証た
たきけり
何といふ、よい歌でせう、私
の今の心境に、いみじくも、
浸み入つて涙ぐましくなりま
した。
逝くものはあきらめられん

殘されし子等のなげかゆあ
はれたらちね
實際仰せの通りであります。
いたいけな主人の子供を遺し
て、中年で夫妻して死んでゆ
くなんて、あるもんですか、
死んでゆくものはよからう、
是から俄かに人の世の荒海に
漂ふて行くものゝ身を思ひや
るとき、油然として、涙がこ
ぼれます。

一切は夢なりと感じ一切は
精進なりとまた感じたり
是は私の歌であります。悲し
みに疲れ、あてにならざるに
あきらめました、なれど、い
や／＼さうでない、行く手に
どんな事變が、待ちかまへて
るやうとも、怖れてはいけな
い、努力していかう、眞面目
に勤めて行かう。

悲しんで破らす、喜んで姪せ
ず、とかの語があるやうに、
太い自分といふ、一本の線を
人生の白道に書いて歡喜にも
悲哀にも動かされないので、突
き進んで行かう、そして其の
間の所措を静かにつけてゆか
うと感じました。

平の妹は、兄妹、二粒のなか
の一人であつたゞけに、私に
とつては、大なる淋びしきで
あり、哀しきでありました。
吾人の甥姪も従つて、自分の
子のやうに思ふ感じが深いの
であります。

さて今日にも、性源寺へ参り
ましたなれば、渡邊夫妻の墓
前で、あなたからの悼歌を誦
して讀經のかはりといいたし靈
魂を慰めてやらうと思つてゐ
ます。
是からどうぞ、御返歌を時々
見せて下さい、私からも送り
まして、御批判をして頂きま
す。一御返事にかへて
十一月念七日朝 森 花葉
佐々木顯様

西洋料理の拵方
イワキ食堂主
森川泰一郎
(三)
メンチカツレット
材料拾人前に付

引肉 百斤
食パン 半斤
玉葱 貳個
鰯 胡椒
鰯 卵 参個
メレンゲ粉 五十匁
ラード 百匁
動物或は魚類等を百匁引肉に
なし、玉葱貳個を引肉器によ
り引きつぶし、食パン半斤は
水に浸し水気を搾り克くほぐ
し、引肉、玉葱、食パンを混
合し鶏卵の白身參個も加へ、

鳥御料理
うなぎ
蒲焼
平町南町平館隣り
電話四二四番

魚 榮
鹽、胡椒にて味を付け、貳拾
個の團子に握り分け、一ツ一
ツアメリカン粉を付けて、鶏卵
黄身參個をほぐした液体を付
け其の上パン粉をまぶして
木の葉形にし、此の團子の
木の葉形が充分に浮ぶ位に、
鐵鍋にバターラードを入れて
沸立つ位に熱した、揚油の中
に入れて、焦がさぬ様に揚げ
ます。

(注意) 以前からカツレットは
油揚の様云つて居りますが
カツレットは木の葉形で油揚
物はフライドと申して居りま
す。

電話開通披露
七五二一番
平窪村辰ノ口本家
松本徳一

ツルヤ商店の
七五三御祝子供デー
洋服 各種 襟 巻
マント 各種 襪 靴
帽子 各種 子 童 ヨツキ
色々陳列致しましたからどうぞ御覧下さい
平町 電話四十四番
ツルヤ商店

君はい、型の
洋服を求めら
れたね。眺かへ?
いや君コレは例の
ソレ正札堂さ
平町仲田町
通場車停町平正
堂 札 正

預金の賣買を致します
賣買の手續は無料で致します
平町仲田町
駒場株式会社
電話四六五番

盛美酒眺月
平町四丁目平驛通
電話二〇七番

鎮咳液
セキノ薬
花柳科、小兒科 入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平五〇七番

印刷物は 加納活版所

阿部石炭商店
電話三三七